

インドネシアでCSOラーニング制度を開始

公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団（東京都新宿区、理事長：二宮雅也、以下損保ジャパン日本興亜環境財団）は、2000年から国内で実施している環境人材育成プログラム「CSOラーニング制度」を海外で初めてインドネシアで実施することとし、2月6日にジャカルタでキックオフ式典を開催しました。CSOラーニング制度は、損保ジャパン日本興亜環境財団が環境人材の育成のため、大学生・大学院生を環境NGOに長期間インターンとして派遣する制度で、これまでに約1,000人の学生が参加しました。

1. 背景

インドネシアは、近年急速な経済発展を遂げる一方で、過剰な森林伐採、廃棄物処理など多様な環境問題を抱えています。損保ジャパン日本興亜環境財団ではインドネシアで深刻化する環境問題や、問題解決に取り組む環境NGOの活動への理解を深めてもらい、学生の社会経験の向上や将来の就職先選択の機会の提供に役立つことを期待しています。

2. インドネシアでのCSRラーニング制度の概要

20名の参加者募集に対して41の大学で142名の応募があり、書類審査・面接の結果、第一期生20名を選抜しました。

- 名称 : NGO Learning Internship Program in Indonesia
- 募集対象 : インドネシアの大学生・大学院 20名
- 派遣先NGO : インドネシアに所在する環境NGO（10団体）に派遣
- 期間 : 2019年2月～9月まで8か月間
- 目的 : 参加学生は期間中、NGOでのインターン活動に参加し環境保護の実務を経験すると同時に、学生間の情報交換・懇親を図り切磋琢磨していくことを目指します。

3. キックオフ式典

2月6日、ジャカルタ市内の会場で開かれた式典には、参加学生のほか、インドネシア環境林業省の高官、日本大使館、環境NGOの職員等約60名が参加しました。

二宮財団理事長から学生へ「持続可能な社会構築のための社会変革をリードできるのは若者以外にはない。皆さんの行動力とネットワークに期待している。」とのメッセージを伝え、参加学生代表から、「このプログラムを通じて環境問題に携わるNGOで体験を得られると同時に、環境問題に関心を持つ新しい仲間と出会えることが魅力。積極的に参加したい。」と決意表明がありました。

4. 今後について

損保ジャパン日本興亜環境財団は受け入れ先のNGOと連携しながら、参加いただいた学生がNGOでのインターン活動を通じ、それぞれの目標を達成できるよう支援していきます。

以上

【ジャカルタでのキックオフ式典の様子】

